

「きょういく」と「きょうよう」

27期 てらした 寺下 のりお 紀男

このほどの同期会にはお世話になった先生方が4人ご出席くださり、卒業後初めて参加した人も複数いて、総数はやや少なかったもののたいへん懐かしく楽しいひと時をすごさせていただいた。

同期会にはほぼ出席してきたが最年少でも「高齢者」となったこんにち、明るい話題が少なくなってきた。いまでは人口に膾炙かいしや（知れわたっている）したと言ってもいいだろうか。高齢者には「きょういく」と「きょうよう」が必要との説がある。前者は“今日（きょう）行く所がある”、後者は“今日用がある”とされる。集まった人の話と同級生たちの消息を聞く限り、このことは必要性を説くにはあたらず、皆さん活動的な日々過ごしているようである。

ひるがえって自身はどうかと言えば、字義じぎ（漢字の意味）にはもっていないが単にそれだけのこと。やることはいろいろあっても、社会には何ほどの作用があるんだと問われればきわめて心もとない。と言って、「(こう) あらねばならない」というのも憚はばかれるので、今は改めようとは思わない。止まれ！「思わない」と言えばわが方に主体があることになるが、実はそうでなく、社会がかかわってくれないのである……。要は、好き放題の自堕落な生活に経過をゆだねているだけ……。ということになる。

こんなこともあってか、同期会やいろいろな知人との飲み会などは人と交わる好機などで大切にしている。

中学校同窓会の主幹事を務める身には、27期幹事の皆さんにはいつも感謝の思いでいっぱい、今回もありがとうございました！！

*27期幹事 今回、体調不調のなか、両部先生は奥様とご参加して頂きました。ありがとうございました。お大事にしてください。次回開催日時は2017年6月第4日曜日に決まりました。

*事務局より 漢字にルビとその意味を追加致しました。



第7回 北辰会 27期同期会 集合写真



両部先生ご夫妻



南野（積）先生



的場先生



山田先生